



学校改善の鍵

○ 本紙の第109号で、子供たちのウェルビーイングを向上させるには、「自己肯定感」や「幸福感」、「学校や地域でのつながり」、「サポートを受けられる環境」といった要素に関する子供たちの主観的な認識の変化に着目していくことの重要性について記しました。



○ 先日、各学校に「令和5年度全国学力・学習状況調査」の結果をお届けしました。その「児童・生徒質問紙」の設問の中には、**自校と国、都及び本市の結果を比較し、今後の学校改善に役立てたい項目**があります。以下、抜粋します。

(4) 自分には、よいところがあると思いますか。

(5) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。

(6) 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。

(7) 将来の夢や目標を持っていますか。

(10) 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。

(12) 学校に行くのは楽しいと思いますか。

(14) 友達関係に満足していますか。

(15) 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。

○ 「全国学力・学習状況調査」の対象は限られた学年です。各学校で毎年実施している全員対象のアンケート項目を見直し追記することで、子供たちの認識の変化についてエビデンスを収集し、指導の工夫改善につなげたいものです。

先手をとる

横河電機社長 山中 卓

時代の流れを読みながら先手をとれ。

出典：「成功への名語録」（講談社編 講談社）

※ 前例のないことへの挑戦。困難を伴いますが、やりがいのある、心躍る仕事です。